

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社きもと 上場取引所 東
 コード番号 7908 URL <http://www.kimoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木本 和伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山田 資子 (TEL) 03-6758-0300
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,880	△16.9	△386	—	△372	—	△392	—
2020年3月期第2四半期	5,871	△14.5	△192	—	△225	—	△952	—

(注) 包括利益 2021年3月期 第2四半期 △328百万円(—%) 2020年3月期 第2四半期 △998百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△8.16	—
2020年3月期第2四半期	△19.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,753	17,211	79.1
2020年3月期	22,613	17,684	78.2

(参考) 自己資本 2021年3月期 第2四半期 17,211百万円 2020年3月期 17,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
2021年3月期	—	2.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	△7.6	20	—	10	—	△50	—	△1.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	54,772,564株	2020年3月期	54,772,564株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,622,118株	2020年3月期	6,622,118株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	48,150,446株	2020年3月期2Q	49,150,446株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
3. その他	P. 7
(販売の状況)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結 [減収]

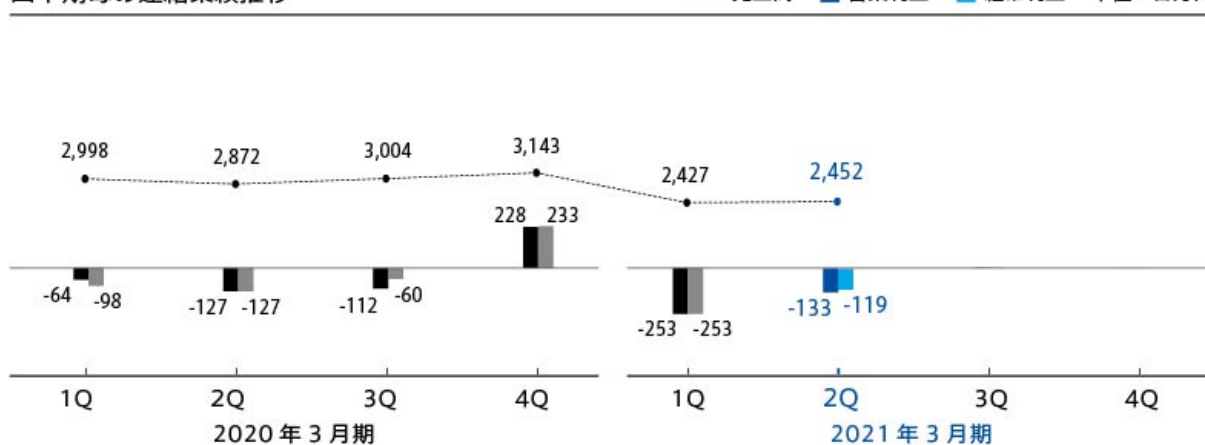
2021年3月期は、米中貿易摩擦が長期化していることに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な生産活動や消費活動の落ち込みにより景気の先行きは不透明な状況が続いておりますが、当社では、第5世代移動通信システム(5G)の本格展開により急成長が見込まれるIoT市場に向け、独自性のある製品の開発・生産及びサービスの提供を推進しております。フィルム事業は、家電・自動車及びセンサー関連などのIoT関連製品において、機能性が求められる高付加価値製品の販売を推進しております。また、北米工場のコンパクトクリーンコーターを活かした新規分野への展開とIoT・ビッグデータ時代に向けたモノづくりプロセスの最適化を進め、品質及び利益率向上に努めてまいります。データキッチン事業は、点群データの編集及び加工など付加価値の高い3D技術を中心にデジタルツインの技術力を強化し、海外現地法人及び国内外の協力会社と共に、高品質なデータサービスの提供をグローバルに推進してまいります。なお、以前より進めておりましたワークフロー改革の成果として新型コロナウイルス感染症拡大による当社日常業務への影響は軽微であり、今後、さらに多様な働き方ができる環境作りに努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間につきましては、上記の通り新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等の影響により国内及び海外グループのIoT関連製品の受注減少により減収となりました。利益面では原価低減に努めましたが、高利益製品の落ち込みによる売上総利益率の低下を主因として営業利益段階で損失を計上しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,880百万円(前年同四半期比16.9%減)、営業損失は386百万円(前年同四半期の営業損失は192百万円)、経常損失は372百万円(前年同四半期の経常損失は225百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は392百万円(前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失は952百万円)となりました。

四半期毎の連結業績推移

●売上高 ■営業利益 ■経常利益 単位:百万円



個別 [減収]

当第2四半期累計期間につきましては、上記の通り新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等の影響により国内及び海外グループのIoT関連製品の受注減少により減収となりました。利益面では原価低減に努めましたが、高利益製品の落ち込みによる売上総利益率の低下を主因として営業利益段階で損失を計上しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は4,497百万円(前年同四半期比16.8%減)、営業損失は344百万円(前年同四半期の営業損失は55百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。なお、比較増減額はすべて前連結会計年度末を基準としております。

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ860百万円減少し、21,753百万円となりました。主な変動要因は、たな卸資産の増加185百万円、受取手形及び売掛金の減少747百万円、機械装置及び運搬具の減少124百万円であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ387百万円減少し、4,541百万円となりました。主な変動要因は、電子記録債務の減少88百万円、流動負債その他に含まれる未払消費税等の減少95百万円、設備関係債務の減少163百万円であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ472百万円減少し、17,211百万円となりました。主な変動要因は、その他有価証券評価差額金の増加68百万円、利益剰余金の減少537百万円であります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇し、79.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期における世界経済につきましては、依然として新型コロナウイルス感染症の影響は収束しておらず、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き不透明な状況にあるものの、現段階において当社が入手可能な情報を基に業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

新型コロナウイルス感染症は、世界各地の経済活動に深刻な影響を与えておりましたが、主要顧客におきましても最悪期を脱し緩やかな回復基調にあり、今後の需要は徐々に回復に向かうと考えております。

これらにより、当社グループの2021年3月期の連結業績予想といたしましては、営業利益については黒字への回復を見込んでおります。

なお、2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の拡大及び長期化が懸念されており、今後の動向によっては受注量の減少により、当社の業績に影響を与える可能性があります。今後の状況を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,028	11,981
受取手形及び売掛金	2,934	2,187
電子記録債権	417	368
商品及び製品	472	632
仕掛品	553	472
原材料及び貯蔵品	361	467
その他	153	144
貸倒引当金	△13	△6
流動資産合計	16,907	16,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,481	2,410
機械装置及び運搬具(純額)	1,227	1,102
土地	791	791
建設仮勘定	76	18
その他(純額)	164	149
有形固定資産合計	4,742	4,473
無形固定資産		
ソフトウェア	105	99
ソフトウェア仮勘定	10	8
その他	39	39
無形固定資産合計	155	146
投資その他の資産		
投資有価証券	703	790
その他	269	254
貸倒引当金	△164	△160
投資その他の資産合計	808	884
固定資産合計	5,706	5,504
資産合計	22,613	21,753

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	691	625
電子記録債務	1,188	1,099
未払法人税等	43	35
賞与引当金	220	206
その他	593	347
流動負債合計	2,737	2,314
固定負債		
退職給付に係る負債	2,051	2,059
長期預り金	98	98
繰延税金負債	20	47
その他	21	21
固定負債合計	2,192	2,226
負債合計	4,929	4,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	12,933	12,395
自己株式	△1,663	△1,663
株主資本合計	17,971	17,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	79
為替換算調整勘定	△153	△172
退職給付に係る調整累計額	△143	△129
その他の包括利益累計額合計	△287	△222
純資産合計	17,684	17,211
負債純資産合計	22,613	21,753

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,871	4,880
売上原価	4,467	3,945
売上総利益	1,403	934
販売費及び一般管理費	1,596	1,321
営業損失(△)	△192	△386
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	6	5
受取手数料	0	5
物品売却益	1	0
その他	7	2
営業外収益合計	18	16
営業外費用		
支払補償費	0	-
為替差損	50	1
その他	0	0
営業外費用合計	51	2
経常損失(△)	△225	△372
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
減損損失	654	-
特別損失合計	654	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△880	△373
法人税等	72	19
四半期純損失(△)	△952	△392
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△952	△392
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	68
為替換算調整勘定	△47	△18
退職給付に係る調整額	20	14
その他の包括利益合計	△45	64
四半期包括利益	△998	△328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△998	△328
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

(販売の状況)

事業区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		(参考)前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	外部顧客への 売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部顧客への 売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部顧客への 売上高 (百万円)	前連結会計年度 増減率 (%)
フィルム	5,375	△15.6	4,515	△16.0	10,839	△11.7
データキッチン	135	△10.3	147	9.5	509	1.1
コンサルティング	0	△66.6	1	117.7	1	△80.8
その他	360	3.5	215	△40.2	669	△13.8
合 計	5,871	△14.5	4,880	△16.9	12,019	△11.4

(注)上記金額には、消費税等は含まれておりません。